

北八代プロジェクト

安枝英俊

キーワード：ワークショップ、作品づくり、豊岡国府地区、姫路北八代地区

1. はじめに

このプロジェクトでは、住民が知識や技能を活かすための場づくりを実践する。具体的には、地域内のサークル活動において制作した作品の展示会を開催し、そこに作者の制作意図なども合わせた展示や、ワークショップ、作品のプレゼンテーションをする交流会を開催することで、作品を介した住民同士の交流を生み出すことや、住民が知識や技能を活かしながら、地域課題の解決に資する活動に参画するための場づくりを実践する。

北八代自治会では、老人会である「笑和クラブ」を、豊岡市国府地区コミュニティセンターにおいては、研究室と地域の連携により 2022 年 8 月から開催している「つくるよろこび展」を対象とする。

2022 年度までは、北八代プロジェクトという名称にて活動をしていたが、豊岡・国府地区における連携活動も実施していることと、2024 年度は北八

代地区では活動を実践していないため、本報告では、国府地区における活動について報告する。

2. 国府地区における「つくるよろこび展」について

2.1 作品展示について

作品展については、2024 年 6 月 30 日～7 月 6 日に開催した。

ものづくりをするサークルの展示コーナーの他、入口近くには、作品展の実行委員会である「つくるよろこび会」が、ジーンズ生地をリメイクした作品を展示した。

昨年度までは、展示コーナーのパーティションの位置により、ワークショップコーナーの様子が見にくかったため、展示作品をみながら、ワークショップ会場も視認できるような会場レイアウトに変更した。



図1 つくるよろこび展のチラシ（表面）

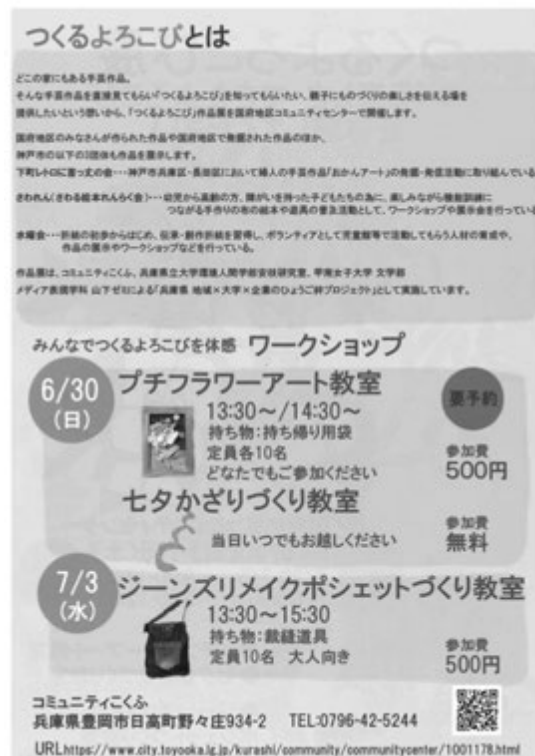


図2 つくるよろこび展のチラシ（裏面）



図3 つくるよろこび展

つくるよろこび会のメンバーと一緒に作品づくりを体験しませんか？

7/12（金）“こんにちは”会開催！！

時間 10:00～16:00（ご都合のよい時間で）

場所 国府地区コミュニティセンター

つくるよろこび会のメンバーの作品を見ながら交流しましょう！

こんな方におすすめ

- ☐ おうちに手づくり作品やもらった作品をお持ちの方
- お気に入り作品などがありましたら持ってきてください！
- ☐ ものづくりに興味がある方
- お披露目される方の工夫した点やものづくりの楽しさをたくさん聞くことができます！
- ☐ お話をしたい人
- ゆっくりお茶を飲みながら、作品のことはもちろん、それ以外のことも気軽に話しましょう！本展示会ではお披露目されなかった作品に出会えるかも？！

つくるよろこび会とは

2022年につくり手メンバーが自らの作品について発表し、お互いの作品の長所を見つけるという交流会を開催したことから発足。毎月2回、作品展、等で販売するための作品作りを行っています。

つくるよろこび会では、会の冒頭に作品のお披露目を行っています。互いの作品の紹介を通じて交流することにより、作品の新たな魅力や美しさに気付いたり、異なる工夫点、アイデアを発見したり、作品をつくる楽しさやよろこびが体験できる場となっています。





図4 作品もって“こんにちは”会のチラシ

2.2 ワークショップについて

ワークショップについて、国府の作家らによるワークショップは、プチフラワーアート教室（6月30日）、ジーンズリメイクポシェットづくり教室（7月3日）を開催した。プチフラワーアート教室は、だれでも自由に参加ができる予約制の教室（参加費は500円）、ジーンズリメイクポシェットづくり教室は、手芸の経験のある人を対象とした教室（参加費は500円）とした。

安枝研究室によるワークショップは、七夕かざりづくり教室（6月30日）を開催した。このワークショップは、当日であれば、いつでも自由に参加できるようにした（参加費は無料）。

このように、手芸の経験の有無に関係なく、多くの住民が参加できるように工夫をした。

2.3 「作品もって“こんにちは”会」の開催

2024年度は、作品展とワークショップの開催だけでなく、作品展が終了した1週間後の7月12日に、ものづくりをする住民を対象とした交流会を実施した（図4）。自宅でひとりで作品づくりをしている住民や、ものづくりサークルの活動に参加したいと思っている住民を対象として、作品展の開催時にチラシを配布した。

住民が参加をしやすいう、自分の作品や、お気に入りの作品をもってきてもらい、作品を介した交流をしてもらうことを試みた。“こんにちは”会という名称については、作品同士をあいさつさせるような気軽な気持ちで参加してほしいと考えて、この名称に決定した。結果として、3名の住民が「つくるよろこび会」に参加することになった。

3. まとめ

コミュニティセンターにおけるサークル活動は、他者との交流機会となるだけでなく、生きがいや楽しみを見いだすこと、技能を向上させることにもつながる場であると言える。

サークルに新規に参加することについては、参加したいと考えていても、途中から参加することを躊躇する住民もいるため、活動を体験できる場や、活動している人たちを知ることができる場が必要である。

2025年度以降に開催する作品展については、作品を展示する場としてだけでなく、サークル活動に参加するきっかけとなる場としても機能することを目指している。